

試料・情報分譲申請用研究計画書(概要)					
研究番号	2018-0007-2	利用するもの	ゲノム情報/タンパク質情報/メタボローム情報/検査項目/調査票		
主たる研究機関	NECソリューションイノベータ株式会社		分担研究機関		
研究題目	健康状態判別モデル作成に関する研究		研究期間	平成30年6月1日～令和5年3月31日 (令和5年3月の時点で延長申請予定)	
実施責任者	堀井 克紀	所属	NECソリューションイノベータ株式会社 デジタルヘルスケア事業推進室	職位	シニアプロフェッショナル
研究目的と意義	<p>生活習慣病への罹患は、患者のQOLの低下だけではなく、高額な医療費の負担にもつながる。そのため、疾患の予防や早期発見につながる疾患予測モデルや疾患判別モデルが必要とされる。既存の疾患予測モデルには、Framingham Coronary Heart Disease ScoreやASCVD(Atherosclerotic Cardiovascular Disease)モデルなどが挙げられるが、これら既存の予測モデルに用いられている因子は、年齢、性別、喫煙、総コレステロール値、HDLコレステロール値、糖尿病歴などの一般的な情報のみから構成されており、予測精度に限界がある。そこで本研究では、東北メディカル・メガバンク機構が保有するゲノム情報、タンパク質情報、メタボローム情報などのオミックス情報、そして臨床検査情報から生活習慣病に関連する疾患(心血管疾患、糖尿病、がん、腎疾患、肝脂肪)との疾患関連因子を探索し、既存の予測モデルよりも精度の高いモデルの構築を目指す。</p>				
研究計画概要	<p>生活習慣病に関連する疾患(心血管疾患、糖尿病、がん、腎疾患、肝脂肪)の判別モデルを作成するため、本研究では以下の項目を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 因子間の関連解析:ゲノム情報、タンパク質情報、メタボローム情報、臨床検査情報の各因子間の関連解析を行い、異なるオミックス間における因子同士の関連性の調査を行う。 生活習慣病に関連する疾患の関連因子の探索:ゲノム情報、タンパク質情報、メタボローム情報、臨床検査情報と糖尿病や心血管疾患との関連解析により疾患関連因子の探索を行う。探索された疾患関連因子と既知の疾患関連因子の疾患への寄与を比較し、新規に探索された疾患関連因子の疾患への関連の強さを評価する。また、糖尿病と心血管疾患の共通する疾患関連因子から二つの疾患の類似点を調査する。 疾患関連因子を用いた生活習慣病に関連する疾患の判別モデルの作成:2により探索された疾患関連因子から、疾患と関連の強い因子を選び出し疾患判別モデルの作成を行う。また、モデルに用いた疾患関連因子より、どのオミックスが疾患と強く関連しているのか評価を行う。本研究では、現在の健康状態からの疾患判別モデルの作成を行うが、今後東北メディカル・メガバンク機構にて追跡情報が利用可能となり次第、将来起こりうる疾患予測モデルの構築も実施する。 				
期待される成果	<p>本研究により得られる疾患判別モデルにより、個人の各種疾患への罹患確率を推定することができる。この推定により、自覚症状がなくても罹患確率の高い個人に対して、早期治療や予防などの対策ができると考えられ、QOLの大きな低下を未然に防ぐことができる。</p>				
これまでの倫理審査等の経過および主な議論	<p>2018年7月25日 外部倫理審査委員会である特定非営利活動法人先端医療推進機構(JAPSAM)にて審議承認済み。 2018年12月21日 NECライフサイエンス倫理審査会議にて承認済み。 2022年3月7日 NECライフサイエンス倫理審査会議にて研究計画変更の承認済み。</p>				
倫理面、セキュリティ面への配慮	<p>東北メディカル・メガバンク機構内にて、データ解析を実施する。そのため、外部にデータを持ち出すことはなく、情報解析の結果や統計量のみを持ち出すことを想定している。</p>				
その他特記事項					
(※公開日	令和4年4月1日)				